

活用ナビ

①【ねらい】日本の主な輸出品・輸出国と輸入品・輸入国がわかる。

②●資料Aを読み取りましょう。題と輸出品の種類を読みましょう。主な輸出相手先を丸で囲みましょう。
※図の全体像を確認する作業であり、一斉にテンポよく行いたい。

②●日本が自動車を多く輸出している相手先はどこでしょうか。
●日本がIC(集積回路)を多く輸出している相手先はどこでしょうか。

②●その他に気づいたことを話し合ひましょう。

③●資料Aからいえることについて、教科書を参考にしてまとめましょう。
※本文を確認したのち、まとめさせる。

④●資料Bを読み取りましょう。題と輸入品の種類を読みましょう。主な輸入相手先を丸で囲みましょう。
※資料Aと比べながら作業をさせたい。

④●日本が原油を多く輸入している相手先はどこでしょうか。
●日本が機械類を多く輸入している相手先はどこでしょうか。

④●その他に気づいたことを話し合ひましょう。

⑤●資料Bからいえることについて、教科書を参考にしてまとめましょう。
※本文を確認したのち、まとめさせる。

5年-12

3-2 日本の工業生産と貿易・運輸
主な輸出品と輸入品

P144~P145

名前

5年 組 番

①【ねらい】日本の主な輸出品・輸出国と輸入品・輸入国がわかる。

②【基本】資料Aを読み取ろう。
・題と輸出品の種類を読もう。
・主な輸出相手先を丸で囲もう。
・日本が自動車を多く輸出している相手先はどこだろうか。

アメリカ合衆国, オーストラリア, 中華人民共和国

・日本がIC(集積回路)を多く輸出している相手先はどこだろうか。
中華人民共和国, 台湾
・その他に気づいたことを話し合おう。

③【ポイント】資料Aからいえることについて、教科書を参考にしてまとめよう。

日本や自動車やICなどの工業製品を多く輸出している。アメリカ合衆国や中華人民共和国などが主な輸出相手先である。

④【基本】資料Bを読み取ろう。
・題と輸入品の種類を読もう。
・主な輸入相手先を丸で囲もう。
・日本が原油を多く輸入している相手先はどこだろうか。

サウジアラビア, アラブ首長国連邦, カタール

・日本が機械類を多く輸入している相手先はどこだろうか。
中華人民共和国, アメリカ合衆国, 台湾
・その他に気づいたことを話し合おう。

⑤【ポイント】資料Bからいえることについて、教科書を参考にしてまとめよう。

日本では原油やガスなどの燃料・原料をサウジアラビアなどから輸入している。中華人民共和国などのアジアから工業製品を輸入している。

資料の読解

資料①と資料②は、日本の輸出入に関する主な輸出品および輸出入相手国について、わかりやすく地図に表したものである。

資料①では主な輸出品が5種類、イラストで示されている。その大きさは輸出額の大きさを表しているが、日本では自動車が重要な輸出品であることがわかる。アメリカ合衆国、オーストラリア、中華人民共和国をはじめ世界の各国に輸出されている。日本の高い技術力で作られるIC（集積回路）は中華人民共和国や台湾をはじめとするアジアの各地に輸出されている。また、輸出額でみるとアメリカ合衆国と中華人民共和国が日本にとって重要な輸出相手国ということもわかる。

資料②では主な輸入品を5種類、扱っている。教科書本文では、原油やガス、アジアからの工業製品、食料が特徴的な輸入品として説明されている。この資料でも輸出と同様に、中華人民共和国やアメリカ合衆国が主な輸入相手国ということがわかる。

見方によっては様々な情報をこれらの資料から読み取ることができるが、内容を焦点化するためには教科書の本文に説明されている事例を中心に読み取りをさせていきたい。

読解の方法

- (1) 最初に資料①を扱う。基本項目である題名、輸出品の種類、単位、出典を確認する。加えて、主な輸出相手先を丸で囲ませる。多くの情報が地図上にあり、相手先を丸で囲むことは情報を整理するうえで必要である。そのことは、国ごとの輸出の規模を子どもが確認することにつながる。
- (2) 次に教科書本文で説明されている自動車とIC（集積回路）の輸出相手先を書かせる。その他の事例についても気づいたことを話し合わせ、資料に多くの情報があることを実感させる。
- (3) それまで得た情報をもとに、資料からいえることを考えさせ、日本の輸出の様子についてまとめさせる。
- (4) 輸入についても基本的に（1）から（3）と同様の流れで行い、まとめさせる。
- (5) 本時では中心資料が2つあるので、その後輸入と輸出の様子を比べたり、他の資料と関連づけたりしていえることを考えさせたい。